

インターネット環境でのデータ工学とディペンダビリティ小特集 (和文論文誌 D-I) 論文募集

インターネット環境でのデータ工学とディペンダビリティ小特集編集委員会

近年のネットワークの発展に伴い、インターネット環境におけるデータ工学に関連する研究・開発が活発に行なわれています。その社会的重要性が増すに従い、システムの信頼性やアベイラビリティ、セキュリティなど、システムとしてのディペンダビリティに関する研究・開発の位置付けも一段と重要となっており、例えば、B2B や B2C システム、生産流通サポートシステム、各種のインターネットサービスプロバイダ、あるいは交通、医療、教育システムなどにおいて、ディペンダビリティを向上させることが不可欠と言えます。そのためには、これまでのデータベースとネットワークの耐故障化といったアプローチのみではなく、ワークフロー管理、あるいは Web や XML などの要素技術とセキュリティや利用形態などとも関係し合う技術について、研究を益々発展させていくことが重要となります。

以上のような状況を鑑み、平成 14 年 9 月発行の情報・システムソサイエティ和文論文誌で「インターネット環境でのデータ工学とディペンダビリティ小特集」を企画しました。これまでの研究成果をまとめ、今後の研究をますます発展させていくため、このテーマの下に広く論文を募集いたしますので、奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

1. 対象分野

次の様なテーマの論文投稿を期待していますが、これに限らず、広くインターネット環境でのデータ工学とディペンダビリティに関する分野の論文の積極的なご投稿をお願い致します。

- ディペンダブルシステム
- フォールトトレラントシステムとソフトウェア
- 分散システムの信頼性・安全性
- 分散アプリケーションとディペンダビリティ
(ISP、B2B、B2C、生産流通サポート・交通・医療・教育システム)
- Java/CORBA とディペンダビリティ
- 分散環境と XML
- 分散トランザクション
- 情報統合とトランザクション
- ネットワークトランザクション解析
- ワークフロー管理
- ディペンダブル記憶システム
- インターネットとセキュリティ

2. 論文の執筆と取扱い

- 通常の一般論文およびレターと同一とします。但し、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ以内とします。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」を御参照ください。
- 論文投稿時には、論文原稿の表紙に「データ工学とディペンダビリティ小特集」と朱記して下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があることを予めご了承ください。

3. 論文投稿締切日：平成 13 年 11 月 30 日 (金)

4. 論文送付先

〒 105-011 港区芝公園 3-6-22 ジェーシービル 4F
(社) 電子情報通信学会出版事業部 ソサイエティ誌出版課

5. 問合せ先

横田治夫 東京工業大学 学術国際情報センター
〒 152-8552 目黒区大岡山 2-12-1
TEL 03-5734-3505 FAX 03-5734-3504
E-mail yokota@cs.titech.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長	伊藤 秀男 (千葉大)
幹事	横田 治夫 (東工大) 有次 正義 (群馬大)
委員	石川 博 (都立大)
	岩井原 瑞穂 (京大)
	岩崎 一彦 (都立大)
	大森 匡 (電通大)
	小川 聡 (倉敷芸科大)
	掛下 哲郎 (佐賀大学)
	金川 信康 (日立)
	喜連川 優 (東大)
	角山 正博 (新潟工科大)
	中村 英夫 (日大)
	丸山 宏 (日本 IBM)
	吉川 正俊 (奈良先端大)